**平成25年度　第１回淡路市子ども・子育て会議　会議録**

開催日：平成25年11月７日（木）14:00～16:00

開催場所：淡路市役所２階大会議室２・３

１　開会あいさつ　森副市長

２　委員委嘱状交付　森副市長より各委員へ

３　委員の自己紹介　各委員と事務局、オブザーバー

４　会長、副会長選出

会長：関西看護医療大学准教授　森田智子氏を選任

副会長：志筑保育園　副園長　三浦義崇氏を選任

５　会長あいさつ　森田会長

６　協議事項

1. 淡路市子ども・子育て会議運営要綱について

→附則の要綱を要領と訂正し、可決

②　淡路市子ども・子育て会議傍聴要領について説明

→原案通り可決

③　子ども・子育て支援法及び子ども・子育て会議の役割の説明

●委員からの質問

認定こども園は新しく作るのではなく保育所が認定こども園みたいになることが現実的ではないか。

→ニーズ調査の結果によって検討していくことになる。

説明がわかりにくい。何がどう変わるのか。

→たとえば保育所に入るには申請をし、認定をもらってから入るようになる。

定員を満たしていない施設に子供を入所させて待機児童を減らすのが目的なのか。

→地域によって多少違いはある。工夫をしながら待機児童の解消をしようというような努力をしているところもある。

認定こども園は、将来、淡路市にできるのか。保育園しかなかったので、保育園にお世話になった。幼稚園があれば幼稚園に入れた。

→ニーズ調査を元に、量の見込みを出してから検討する。

施設型給付・共通給付の意味がわからない。何が変わるのか。

→現在は、お金の出所が違うが、今後は一本化になるようなイメージ

　今年度は市民が望んでいることほか地域の実情を調査する。

④今後のスケジュール　事務局より説明

⑤淡路市子ども・子育て支援事業に関するニーズ調査について

●委員からの質問

アンケート回収率の見込み

→6割程度。配布方法は主に保育所、幼稚園、小学校の施設協力を得て直接配布する予定にしているので、もう少し高くなると思う。

児童館はないので削除したほうがよい

→削除する

11ページ問19の④、教育相談センター・教育相談室、どのような表現がいいか

→担当部署と相談する

用語の補足説明が必要

→追加する

12頁の問21、預かり料5,000円とあるが、長期休業中の預かりはやっている。

1か月単位なので1日単位では徴収をしていない。分かりづらいのではないか。

→修正する

淡路市で実際にアンケートをすると、保育所に幼稚園の機能をもってもらえるのであれば、認定こども園に任せたいというのがほとんどだと思う。距離の問題があって、幼稚園に預けたいけど、距離が遠くて預けられない。そういうところをアンケートに入れてほしい。

→検討する。

「一時預かり」が就学前児童の保護者用の調査票15頁にあるが、小学校用にはない。小学生のお子さんを持つ保護者の方に一時預かりのニーズを問わなくてもいいのか。小学生になった時に単発で何かあってみられないときのサポートはどうなっている？

→質問にないことや意見は自由記述欄に書いていただきたい。そういった場合、対応できる事業としては、ファミリー・サポート事業がある。

９頁と10頁だが、現在、利用している教育・保育事業の実施場所に淡路市外もある。ニーズが明確になるよう、問１６－１は今後利用したい場所はどこですかと聞き、「淡路市外」と書かれた場合は理由を問う方がよい。

→そのように変更する。市外の園に通われている方には現在通っている施設を通じて直接配布するので。

問１５－３、市外を選択した場合に理由を聞く必要がある。

→理由を聞く方式に変更する。

全体的に言葉が難しい。

→なじみやすい言葉に変更する。

７．閉会　三浦副会長よりあいさつ

（終了）